

〈支援企業を訪問しました〉

社会福祉法人 上尾あゆみ会 上平事業所 殿

「5S・販売促進策カイゼン活動により、職員の意識が変わり施設の財産となる！」

社会福祉法人 上尾あゆみ会（深井理事長）上平事業所は、①安心安全、②利用者本位、③一瞬の輝きを大切にする事業所運営を目指す基本方針のもと、平成20年3月に就労継続支援B型事業を含む多機能型施設として、開始しました。

現在職員数34名（パート含む）、利用者数85名で、障害者就労継続支援事業として饅頭・煎餅製造販売、弁当製造販売、花・野菜等の栽培販売、公園等の清掃、クリーニング作業等の事業を行っています。

施設は、①饅頭・煎餅等の売り上げが横ばいである。②よって、利用者の工賃アップが実現できない③施設全体の環境を改善し、職員・利用者の働きやすい施設にしたい等の課題を抱えていました。



ひまわりショップ

平成27年、上尾市が就労継続支援B型事業を行う障害福祉事業所を対象とした障害者就労製品販売促進事業に私たちアブセックが応募しました。企業OBの経験豊富な種々の能力を持った人材が豊富で、平成24年から取り組んだ埼玉県での「障害者就労施設・シニア連携事業」の実績が評価されたことから採択され、平成27年7月より障害者就労施設現場と販売面のカイゼン事業に着手致しました。

支援に先立ち勉強会では5Sカイゼン活動の目的、狙いなどを職員に理解していただき、キックオフ宣言で『みんなで頑張ろう“5S”大作戦』のスローガンのもと、職場毎のカイゼンチェックシートにより月2回のペースで各作業所の取組時期を決めて、実施指導・助言を行いました。

その結果、整理・整頓・清掃が目に見える形で改善されました。特に饅頭・煎餅等の食品製造室、事務所、倉庫等の改善は著しく、「作業のムダが減少し作業性が向上」、「利用者が翌日の生産数量をボードに記載するようになった」等の具体的な効果があり、利用者のご家族、他施設からの見学者等からもお褒めの言葉を頂いております。



5S改善例

又、販売促進については品目毎の担当者（施設、アブセック）を決め、きめ細かく課題抽出・改善、販売活動支援に取組み、さらに月1回担当者全員参加の定例的な営業会議で売上向上策、生産体制、販売促進策等知恵を出し合っただけのカイゼンにより対前年同期比で売上14%増の成果につながりました。特に、弁当は商品内容の見直し、販売促進により65%増となっています。



弁当

最後に深井理事長からアブセックの指導のもとで『今回の取組みにより、職員全員の意識が変わり、販売会議などで提案するようになった。5Sカイゼンについて手を取りご指導を受けた事が施設の大きな財産となったと実感している。今回の取組みを維持向上させ、売上増・工賃増へ継続的に取り組みたい。』との力強いお言葉を頂きました。

（斉木 記）

ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会

アブセック事務局 TEL 048-773-3111 E-mail abcec@ageocci.or.jp